

令和 6 年度第 1 回名取市青少年問題協議会 概要記録

○日時	令和 6 年 5 月 29 日（水）午後 2 時より
○場所	仙台法務局名取出張所 2 階 会議室 4
○出席者（16 名）	山田 司郎会長、久米智美委員、阿部正義委員、佐藤繁樹委員、 荒井龍弥委員、大友一郎委員、大友康信委員、市村 聡委員、 鈴木雅行委員、大久保栄里委員、阿部奈緒子委員、畠山道子委員、 荒井勝江委員、川村米子委員、赤井澤徹委員、木村 誠委員
○欠席者（10 名）	相澤喜美委員、川村美智子委員、高橋紘志委員、今野忠義委員、 星居敬子委員、藤田智己委員、新田 聡委員、高橋睦子委員、 瀧澤信雄委員、我妻 諭委員
○事務局出席者	教育部長 齋藤 正光 生涯学習課 課長 佐藤 徹也 〃 課長補佐兼生涯学習・青少年係長 菊地 栄一 〃 主事 益子 未桜
○傍聴人	なし

会 議 概 要

委嘱状の交付

新たに委員となった 5 名に対し、委嘱状の交付を行った。

会議成立の確認

名取市青少年問題協議会条例第 5 条第 2 項により、委員過半数の出席を確認し会議成立を宣言。

会議公開の確認

名取市審議会等の会議の公開に関する要綱第 2 条により、公開の対象となる旨を告げる。

傍聴席を設けていたが、本日の傍聴者はなし。

会議録作成の確認

会議録は要点筆記とし、事務局において作成することを確認。

また、会議録は一定の期間、市政情報コーナー及び市ホームページで公開されることを確認。

1 開 会 進行：佐藤

2 あいさつ

山田会長

この協議会は、青少年の指導、育成、保護及び矯正に関する総合的施策について、検討をいただいている。現代の青少年は、いじめ、児童虐待、不登校、中途退学、ひきこもりなどに加え、青少年自身が加害者または被害者となる事件や事故が頻発している。また、スマートフォンの普及に伴い、SNS 利用による被害が急増しており、特に性被害や誘拐事件に巻き込まれやすくなっている。このような状況を踏まえ、SNS の安全な使用方法を理解し、適切に対処するメディアリテラシーの向上が、急務とされている。本日も集まりいただいている関係機関・団体等の連

令和 6 年度第 1 回名取市青少年問題協議会 令和 6 年 5 月 29 日（木）

携はもとより、家庭・地域・学校・行政などが一つになり、より一層連携を図り、青少年に向けた施策を総合的に進めて行かなければならないと思っている。委員の皆様には、改めてご指導ご協力をお願い申し上げる。

3 議 事 進行：山田会長

（１）報告事項：第 1 号 令和 5 年度青少年健全育成事業実施結果について

資料に基づき事務局が説明 （説明員：益子） ※意見・質問はなかった。

（２）協議事項：第 1 号 令和 6 年度青少年健全育成基本方針（案）について

第 2 号 令和 6 年度青少年健全育成事業計画（案）について

資料に基づき事務局が説明 （説明員：益子）

山田会長

ご意見、ご質問はあるか。

阿部（正）委員

定例青少年相談事業について、令和 5 年度は 9 件の相談ということで多いのか少ないのか判断は難しいが、相談事業をもっと周知すべきではないか。

益子主事

昨年度の周知方法は、7 月に配付した青少年相談カード、カードとあわせて配布した保護者向けチラシ、市ホームページへの掲載、広報なとりへの掲載である。今後は、例えばフェイスブックなどの SNS を活用するなど周知に努めていく。

山田会長

健全育成会関係で何か意見はあるか。

久米委員

広報キャラバンについて、昨年度は 4 年ぶりに実施できた。コロナ禍前は市役所に一斉に集まって出発していたが、昨年度は地区ごとに集合して実施した。再開できたことを嬉しく思う。

大友（康）委員

市内の高校生に対して何か取り組みを行ったのか、また行う予定はあるのか。

益子主事

特に取り組みは実施していない。また、現時点で予定はない。

大友（康）委員

青少年健全育成の範囲は 18 歳くらいまでということもあるが、学生時代にひきこもりになってしまいそのまま就職できないなどの問題もあることから、こども家庭庁では 35 歳くらいまで見ていくという考え方も出てきている。今後何か取り組みをしていけたら良いと思う。

山田会長

農業高等学校ではそのような話は出ているのか。

赤井澤委員

特に出していない。

山田会長

学校側で何かして欲しいことがあれば意見をいただきたい。名取北高等学校ではどうか。

木村委員

学校ではスクールカウンセラーや先生などで面談を実施し、子どもたちの声を聞いているところである。地域で何か取り組みを行う際は、ぜひ連携していきたい。

鈴木委員

義務教育期間の不登校やひきこもりに対してはケアできるが、高校に進学できないなどのその後の状況はなかなか見えない。本市でも支援できることを検討していくと良いと思う。どこにいるのか、何らかの方法で分かればよいと思う。

山田会長

最近、「なとぼた」というアプリをリリースした。登録をしていただくと市と市民とで双方向にやりとりができる。アンケート機能もあるため、例えばそういったものを使用してアンケート調査を行い、実態が把握できればと思う。

鈴木委員

中学校卒業時に高校へ進学できたのか、ひきこもりのままだったのか確認することが、義務教育課程の最後でできることだと思う。

大友（康）委員

例えば子どもたちに、どのような状況でどのような解決方法があるのか意見をもらって、取り組みに繋げていければ良いと思う。大人の目線で考えると、どうしても限界がある。

4 その他・情報交換

岩沼警察署生活安全課 市村委員より、名取市の青少年の現状について情報提供あり。

山田会長

ご意見、ご質問はあるか。

荒井（勝）委員

先ほど定例青少年相談についての質問があったが、学校では悩んでいる生徒に対して真摯に対応している。昨年度の相談件数は 9 件だったが、学校での丁寧な対応が功を成していると感じている。近年は、保護者のケアが重要と感じている。

川村委員

荒井委員がおっしゃるとおり、今はお母さんの心のケアが重要だと思う。相談をする相手がいないという声も多い。対面相談のほかに E メール相談も実施しているため、今後に対応していきたい。

阿部（奈）委員

手をつなぐ育成会では、障がいのあるお子さんをお持ちの方の支援を行っている。仲間がいることで救われている声も多いと感じる。

荒井（龍）委員

様々な窓口が多ければ多いほど良いと思う。

畠山委員

みどり台中学校では中学校卒業後の生徒をケアしている先生もいる。

別の話になるが、今年度の小学校入学式で子どもたちの名簿の配布がなかった。転校してきた

令和 6 年度第 1 回名取市青少年問題協議会 令和 6 年 5 月 29 日（木）

保護者や子ども会の方から子どもの名前がわからなくて大変だったとの声があった。できるなら、子どもたちの名簿が欲しい。

山田会長

個人情報保護の観点から、敏感になっている傾向があると感じている。校長を経験した鈴木委員はこのことに関してどう思うか。

鈴木委員

難しい問題だと思う。学校によっては配布しているところもある。また、PTAや子ども会への参加は任意だという考えも広がっていると感じている。

大久保委員

PTAの立場からは、地域で子どもたちを守ってもらえていると感じている。

大友（一）委員

館腰地区の防犯協会では、7 支部に分けて毎週土曜日に巡回をしている。また、毎年チラシを作成し各家庭にも配布している。小中学生の通学時間帯にも青色パトカーで見回りをしている。

佐藤委員

ここ最近の犯罪の傾向について伺う。

市村委員

令和 5 年中の管内の少年非行は傷害事件が多かった。警察署内でも相談窓口を設けており、その中ではインターネットの問題や家庭問題が多かった。

佐藤委員

青少年問題協議会の趣旨とは違うかもしれないが、問題がある青少年だけではなく、いいことをしている青少年にも目を向けて表彰などを行うことが、非行少年を減らすことにもつながると考える。

山田会長

負の面だけを見ず、なにかプラスに繋がることも検討していければと思う。

（議事一切を終了）

5 閉 会

14 : 40 終了

以上